

(2) スオウシロオニタケ (テングタケ科テングタケ属)

期 日：平成24年9月29日

場 所：小ヶ倉水源地 (長崎市上戸町4丁目)

平成20年にハマクサギタマゴタケ (村上仮称) を見つけた地点から50mほど登ったところで見つけました。最初はコシロオニタケと思っていました。標本を片づける時、胞子でも見てみようかなと軽い気持ちで見たところ、丸い形をしていました。コシロオニタケの胞子は広楕円形～円柱形です。そこで、以前見つけたスオウシロオニタケの写真と比較したところ、同じだと思いました。長崎市小ヶ倉水源地にも生えていたのかと、びっくりしました。

ここで見つけたきのこを、スオウシロオニタケとした根拠は、下記のとおりです。

- ・胞子が広楕円形～類球形で無色、平滑
- ・傘上のいぼが鋭くなく淡色で、脱落しにくい
- ・柄のササクレは荒く、つぼ付近に集中する。
- ・柄の基部がつぼむような紡錘形 (芋状) に膨らむ

数日後、同じ場所に行き、他に生えてないか探しましたが、見つかりませんでした。結局、見つけたのは、この1本だけでした。来年、再調査したいと思います。

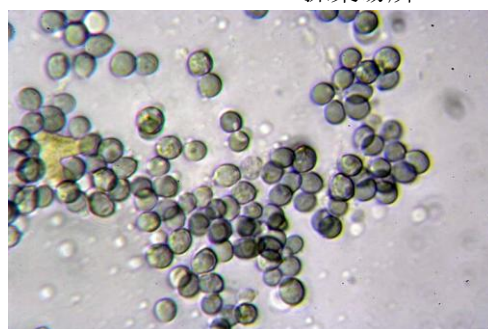
また、スオウシロオニタケと比較するために、今までに撮影したコシロオニタケとしている写真を見直してみると、スオウシロオニタケの特徴に近い写真が何枚かあったので、今後は写真だけでなく、胞子を調べる必要があると再確認しました。






採集したスオウシロオニタケ



×：採集場所



胞子 (400 倍の視野)

		
<p>スオウシロオニタケ 平成24年9月29日 長崎市小ヶ倉水源地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根本が芋状に膨らむ ・柄のササクレは荒く、つぼ付近に集中する。 ・傘上のいぼが鋭くなく淡色 	<p>コシロオニタケ 平成23年8月26日 佐賀市金立教育キャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傘上のいぼが大きく明瞭で、先端が灰色～褐色 ・柄は逆棍棒形で膨大、基部は大根状で長い。 	<p>ササクレシロオニタケ 平成18年9月16日 諫早市上山公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柄の基部は、比較的丸めの紡錘形が多い ・柄のささくれは、上部まで細かく巻き込むようになる。

